

第11回 「東亜日報を讀む会」

1975年10月4日(土)

於：大阪市立洲辺会館

- 本会α10配 仲秋節 (9.15 東亜レター) --- 8
- 「報日経協」 不均衡深化 (9.13) --- 6
- 朝鮮語学習テキスト --- 9
日本人観光客 (9.15)
- 学母の負担は増えたが是正は小さい私学の窮乏 (9.8 解説) --- 11
- 立派先売再び流行 (9.8) --- 14
- 3ヶ月おじさん (9.6 ~ 9.25) --- 15
- 社説：焦眉の汗か駈除 (9.18) --- 20

「東亜日報を讀む会」

大阪市東淀川区南台3丁目10-25-201 飛田方

TEL: 078-781-8677

仲秋節

秋夕を前にした農・漁村の表情

秋夕節を前にしたこのごろ、農漁村の住民は名節の準備、学資および農資金の調達、学費学漁資金の償還督促などで疲れきつている。一部農民は個人的に借金しようとしたが、まず家畜を売り払い、青田売りまでしている。このため牛、豚の価格は、いく日か前の20%ほどさがり、農民はここの秋穀買いとり資金だけを、不安ながら待ちうけているが、秋夕内にその資金が放出される展望はない。一方漁民も、ここのは学漁借入の資金があまりにも少なく、高利金を借りて出漁したが、油類、漁具などの資材の価格だけが上がり、魚の価格は低くともまり、赤字操業と借金の積み重ねの上にある、か、ている。年中で最も大きな名節である秋夕が、目前に迫っても、農村と漁村とを例年のように楽しさで締めくくめる風景は推すことができない。本社地元取材組と通し秋夕を前にした農村漁村の実態とさぐってみた。

融資償還など支出重なる
家畜放売——高利債も盛行

牛の価格2万円ほど暴落

〔晋州〕このごろ西部慶南地方の農村では、一部農民が秋夕節を行なおうと、または農資金を整えるため、家畜を放売するかと思えば青田売りまでしている。

晋州と泗川、晋陽郡の市、郡の畜産協同組合によれば、管内の7つの牛市場には、市の立つ日であれば一日に合せて2,500余匹の

牛が出てくるが、これは二ヶ月前より30%も多い数である。

農民はまた豚もまたと出しており、三ヶ市郡の市場には一日に合せて350余匹もあふれ出ている。このほか、中間業者が農家を訪ねて買っていく数まで合せると、売量数ははるかに多いものとみられる。

このように多くの農民が牛、豚などを売り払うせいで、家畜の価格は引続いた落ち込み、二ヶ月前に18万ウォン後台で取引を止めていた三歳めの牛が、16万ウォンに落ちるなど、一匹当り平均15,000~20,000ウォン落ちた。

一方順州、金海、梁山郡などでは、田に立っている稲を一俵5,000~1万ウォンの前金ともらい売ってしまふ青田売りが、再び盛行している。数年前までかくしていた青田売り行為が、このように再び頭を上げたようになったのは、例年当局から秋夕を前にして、かます当り4,000ウォン程放出されていた秋穀買い取り資金が、ことはいまた支給されず、子女の学費調達や秋夕の支度などに追われた農民が、悪徳穀穀商の策略にめられたためである。

「豚をも売らなければ」

〔議政府〕楊州郡4ヶ面内ル干里の金相順時人(43)は、秋夕を迎えて中、高等学校に通う子に運動靴を一足ずつも買、これはかせようと、また、新しい稲を刈りながら「秋夕節が秋収が終わる10月頃に来ればよいのに」と節の時期をうらめしが、た。

高陽郡ピョク4ヶ面高陽里で4万余坪の農地と養蚕、養豚まで兼ねながら、比較的裕福に暮している李某氏(53)は、秋夕を前にして他のすべての物価が上がるのに、米の価格は落ち込んでいると泣きである。

直系の家族、管理人の家族、雇い人など17名の食口を養っている李某氏は「こんどの秋夕で最小限20万ウォンはなければならぬのに、お金を借入する方法はなく、豚三匹を売って秋夕を乗り切ることにした」と語った。

また抱川郡ソフル面ソウ里の尹泰玉婦人(58)は、一斗落にもたらない田で夫婦と娘など四食口が生きているが、この間借りで使った生活費などで、刈、新しい稲を稼いだといいはがら、秋

夕が名節だとは思わないと語った。

一つの村で30%が借金

[光州] 秋収を前にした全南道内の農村は、近來にない大豊作でこの年よりも余裕を、している。しかし、二学期の学資金、農事協からの借金返済、いく日も残っていない秋夕節のために、当面必要な現金と都合すべき道がなく、青田売りや高利貸が頭をもたげている。巨城郡サハゲ面422=4里は、70余戸中30%以上が秋収を前程とした厚利の借金をしており、また高利貸金まで使用している。

この村の権福任婦人(45)は、7斗落をひらいているが、6食口の生計を維持するのが難しく、すでに17俵を先売りしても借金を5万円もしているという。権婦人は、利子を返すために苦勞し昨年の豊に13万5,000ウォンで買った牛を売りに出したが牛の価格が暴落、14万円しか得ることができず、売りたいため売ることできず、やせない思いをしている。

個人的借金もできず

[金泉] 金泉金陵郡地域は、秋夕を前にして生活必需品の価格が先月末に比べ平均20%も上がり、農民は来る秋夕に茶礼を捧げることすら難しいのではないかと心配している。

昨年には金泉金陵地方に秋穀買い上げ資金が7億ウォンを出され、秋季労働事業も活発で、そのまま秋夕を過ぎたが、こしは買取り資金が前年とあることはあるが、今まで秋穀収買価格が決定されておらず、農民は個人的な借金を求めるのに大膽さである。しかし、お金を持っている人向け、収買が決定されたら貸すと解かないとあり、借金もできないといっているのが実情である。

金陵郡ノソ面ウエルゴウ洞の李建三氏(52)は、「子供の服でも一着買、2着せよと、売ろうと思、2牛を出したが売れず、借金も貸りもないで大変心面くだ。秋穀収買の前預資金でも一日も早く放出されるはよい」と語った。

生計も困難

〔麗水〕南海岸一帯の漁村は、秋夕と向ふ返さなければならぬ借金と、赤字操業からくる不景気のために、目前に近づいてきた秋夕を喜べない。

全南麗水漁協管内の場合、管漁資金がこつしは所要額の20分の1にすぎない900万円オンしか放出されず、全漁民2,115名中延滞のない70名しか融資の恵みを得られなかった。

このため漁民中の25%程が高利貸金を借りて出漁したり、養殖の準備をしたが、漁具と油類の価格は上がった反面、魚の価格は低くこつまっております。赤字操業を免れなげいでいる。さらに養殖業の主なあるかまは、全養殖場にさる72,73年の二ヶ回向、平むし(남작벌레)がまんえん、40%以上の減収となり、昨年以後は過剰生産されたかまの末域の販路開拓がなされず、価格が暴落、大きな打撃を受けているこの漁村は、大部分、年中で最も大きな名節である秋夕が目前に近づいてきたのに、何日かよりに楽しんでそのあつた風景や先をあらって秋夕の準備をする姿が、列に目に映らない。

彼ら漁民はまた、昨月初^めの麗水、麗川近海の赤潮現象で、麗川郡上^上面一帯およびカマクマ一帯の海岸のバジラギ、かまなど各種魚類が溶けて死ぬなど大きな被害をこうむり、秋夕節はあつたが、当面の生活も脅かされている。

ユル^{ユル}面^面シンカン^{シンカン}里の漁村梨の金某氏(40)など50余名は「部落民の咽喉である村の前の協同養殖場1万2,000坪のバジラギと3,000坪のかまが、昨月初め起った赤潮で死んでしまったせいで500余万円^のの被害を受け、これから^の生計が難しくなつた」と語った。

帰郷をせよめた漁夫〔江陰〕一省略

「韓日經濟協」不均衡深化

- 國交正常化以後10年間の功過 -

貿易赤字94億ドル

協調方面に對外依存度高

対日経済者去来内容

(65~75.6) (単位: 百万ドル)

区分	総計	日本	比重
借款	17,396.2	1,461.4	19.7
公共	3,096.3	638.7	20.6
商業	4,299.2	822.7	19.1
外国人投資	868.9	549.9	63.9
元利金償還	2,162.8	291.9	21.4
輸出	13,035.8	3,951.5	30.3
74年	4,460.4	1,380.2	30.9
輸入	23,418.9	9,414.8	40.2
74年	6,851.8	2,620.6	38.2
貿易赤字	10,383.1	5,468.3	52.7
74年	2,319.4	1,240.4	53.5
外国人商社	139社	43社	31.8
外資(70以後)	9,982億ドル	9,260億ドル	96.3
技術導入	518件	361件	69.8

注: 借款 外国人投資は 確定基準

輸出入は 通関基準

65年韓日國交正常化以後10年間に韓日兩國の經濟協力は日本側から自國利益のため強調する立場で固持し、韓国は日本資本導入拡大のため努力をこらした結果、対等な立場の互恵的関係を実現し得ず、經濟交流に伴う不均衡を深化する結果を招来した。

最近10年間の日本は我が国総外債所要額の27.2%を供給すること、2次5ヶ年計画以後高度成長達成に寄与した。この間韓国経済の対外依存度は深化し、対日貿易不均衡は思いのほか幅を拡大した。

65年以後、今年6月迄の日本からの借款導入額は全体の19.7%を占め、外国人投資は件数で81.8%、金額で63.9%という圧倒的の比重を占め、これに続いて同じ期間中借款元金償還額も21.4%を日本資本が回収してきた。また6月末現在我が国において営業活動をしている135ヶの外国人商社中31.8%が日本商社で、70年以後外国商社総外形去来額中46.3%がこれを占めた。

日本資本と商社及び持株導入が二つに亘って成り、対日交易の比率も時々の経過するに随って拡大、日本は我が国最大の逆調発生国と化した。65年以後74年迄対日輸出は我が国の全輸出の30.3%、輸入は40.2%を占め、この期間中全貿易赤字は¹⁰³億8300万ドル中半分を占める54億6800万ドルが日本との交易から発生した。

国交正常化翌年66年1対2.8であったが対日逆調比率は68年1対6.3まで拡大し、73年には1対1.4に改善されたが、今年上半期中には再び1対2.6に悪化した。

このように対日逆調が深化しているにもかかわらず、日本は昨夏8月、韓国産生糸輸入禁制を実施したことは、今年輸入の綿製品、絹織物、化成製品等10余の品目に對する輸入禁止措置乃至は制限政策をとる等、自国利益のみを強調する姿勢を強化している。

このように日本側の不誠実な姿勢に対し、韓国側は毎年国交正常化交渉と民間レベルの合議を通じて貿易不均衡是正を要求してきたが、日本側は冷淡は対応をみせてきた。

韓国経済界人士からは我が国が対日経済協力のために平和協定を締結し、漁業協定、租税協定、工業所有権協定と結ぶ等、譲歩をしているにもかかわらず、日本側が、このように姿勢をみせていることは、政府及び対日持株に臨む姿勢が借款のためと

指摘し、経済交流の活性化と共に貿易赤字の一时的な是正責任は赤字国である
我が国にもあると指摘、対日姿勢の強化が必要だとしている。

第10回 東亜日報を読む会 資料

再びやってきた日本・日本人 断絶20年交流10年 (8.14付)

コビヤおじさん (8.23~9.5)

朝鮮語学習: 日本政府韓国入被爆者にはじめて健康手帳を交付

社説: 関東大震災と韓人慰霊祭 (9.2付)

秋7

ソウルで学生生活劇と大規模規制 (9.1付)

第9回 東亜日報を読む会 資料

社説: 原爆被害者達の救済

「新東亜」75年8月号 ニュースと話題

キョンハス - 大学ソウル 韓国国々傘下

宗教 - 反共を運動

出版 - 「不条理」の除去

朝鮮語学習

コビヤおじさん (7.8~8.22)

愛国を一貫して清貧の生

故張俊河氏の霊前へ 金俊燁 (8月18日)

張俊河氏 死因に疑問 (8.19)

있을때 = ある時
 마다 = ごと
 는맛없이 = なく
 27집어내다 = 取り出す
 마구 = 勢
 ~이라도 = とも
 쓰다 = 書く
 듯이 = ~のように
 려는 = ~しよう
 하여간 = とにかく
 지난 = 過去
 ~거니와 ~ ~ ~
 그러했 ~ ~ ~
 앞으로 = これから
 계소 = 料理
 찾다 = 求める
 늘어나다 = 増える
 ~르 것이다 = ~るはず
 ~르 수밖에 없다 = ~るはず
 ない
 이유 = 理由
 ~로는 ~ ~ ~
 노리다 = 狙う
 두가지 = 二つの
 본인 = 本人
 즉 = 即ち
 문제 = 問題
 한 = 一
 지적 = 指摘
 만 큼 = ほど
 보이다 = 見える
 어썩든 = ともあれ

이런저런 = おおまか
 여러 = いろいろ
 ~나 = ~なり
 이웃 = 隣
 끼리 = 同志
 2수목 = 一本は百程
 좋다 = いい
 더우기 = 2つに
 산업 = 産業
 도입 = 導入
 말쟁 = 紛争
 일다 = 起る
 경제 = 経済
 무사 = 無事
 2수없다 = 2つない
 하지만 = しかし
 ~다는 = ~という
 사실 = 事実
 만 = だけ
 위정자 = 為政者
 국민 = 国民
 모두 = すべて
 자각 = 自覚
 ~씀 = ~する
 지혜롭다 = 知恵ある
 극복 = 克服
 ~한다면야 = ならば
 멀지않아 = 遠からず
 라는 = ~という
 불명예 = 不名誉
 벗어 버리다 = 免がする
 될테니까 = なるのは

ないか, 테 = 터 이(니)가
 바로 = ちょうど
 저들 = 彼等

<漢字語 読み>
 大量消費社会 大量 소비 사회
 脱工業化 탈 공업화
 高度管理 高度 관리
 疏外感 疎外 감
 副産物 副 산 물
 餓 飢
 欲求不満 욕구 불만
 領土 領土
 住宅難 주택난
 生活環境 生活 환경
 空間的圧迫 空間적 압박
 国内外旅行 국내외 여행
 農業協同組合 농업 협동 조합
 同意語 동의어
 觀光地 관광지
 黃禍 황화
 健康優良児 건강 우량아
 超無識型 超 무식형
 体温 체온
 犯罪 범죄
 免罪符 免죄부
 好人型 호인형
 旅行記 여행문
 増加 증가
 煙氣 연기
 相乗効果 상승 효과
 劣等 열등

[解説]

— 学父母の負担はまた増えたか …… —

1975. 9. 8.
東亜日報 3面

是正されない私学の窮乏

授業料値上げ分、ボーナス支給に足らず

「準官立化されたのなら、財政も責任を負うべき」

学父母の負担がまた増えた。中高校の授業料が、9月から14.1% (中学)、11.6% (高校) ずつ上がり、続いて、私立国民学校 (注、小学校)、専修学校等も同じく、同じような水準に上がる予定だ。

しかし、私学の財政状態は、依然として窮乏し、なかなかよくなる展望が見えていない。今回上がる^中中高校授業料は、全的に教員ボーナス100%引き上げに伴う財源を確保するためのものだった。

学父母のふてぶてを考れば、今回の値上げ幅も決して僅かなものではない。ソウル、釜山 (7000) 等、一級地の場合、月380万円と上がり、授業料だけ2年間、一人当り48,960万円にのぼる。文教当局 (注、日本の文部省にあたる) はこの程度引き上げれば、教員ボーナス100%支給に必要な財源は充分に出るだろうと説明している。

しかし、私学側の主張は違う。60年余の歴史を持つ、ソウルのある名門私立高校の場合、今回上がる授業料だけでは教員ボーナスを100%支給するに100万円ほど不足するというのだ。ソウルとか、地方とかを問わず、いわゆる名門校私学ではあるほど、教職経験の長い教員が多く、人件費支出が新設校よりはるかに大きい。先に言及した私立高校の今年の学校予算の内訳を見ると、教員63名をほかにできる教職員83名の平均号俸が11号俸で、学生が出す入学金と授業料及び財団転入金等、学校予算総額の93.5%が人件費として出て行くのが実情というのだ。結局、残り6.5%を学校屋当費として使っている。

この学校の場合、この9月から来年2月まで6ヶ月間に渡り授業料増収分は全部で453万円余りで、ボーナス100%支給に該当する540万円より86万円余り足りない勘定。このような現象は、ソウル市内の中央高、普成高、晉谷高、徽文高、養正高、進明女高、培花女高等、これらの名門私学の間ほとんど同じようであると関係者は語っている。

中高等学校の授業料値上げはほぼ毎年繰り返して来た要循環の連続^統であった。理由は簡単で、高騰する物価高に加えて、教員給与が毎年いくらも上がるたため。こうした財源を準備するには、同僚補助でなければ、受益者負担原則による授業料値上げの二つは道しかなない。そこで政府予算の事情が許せば、毎年おこなわれ、最後に結局は授業料値上げに落着いて来たのだ。

私学の財政状態が、特に困難になったのは、去る69年からのことだ。中学校無試験進学制が実施され、続いて、74年からは高校入試制度まで変えて、私学の運営が急激になった。平準化 施策に伴い、施設、教材教具設備等、金のかかることが増え、公納金は公立学校と同額と決定されたためである。これに加えて、校長の入退学権限を完全になくし、従来、定員外入学等を生じた賛助金等の陰性収入が断たせられた。教員任用の権限まで、順位審査制によって大きく制限された。

大部分の私学経営者は「今は名のみ、私学だが、実情は官立学校と異なる点はない」と強調している。ここから私学経営者の失望と不満が大きくなっている。私学側では、私立中高校の学事行政面等で、準官立化して来たら、その財政運営についても、政府のあり程度責任を負わなければならないと語っている。

私学経営者のこうした主張は、一応、充分な理由があると言えよう。文教当局者も、これと認める立場にある。現行、公立は同僚から教員人件費半分の、施設費の一部を補助しているが、私学に対しては、如何なる補助もなく、私学自らの力で公立とまったく同様の教育を実施せよというのだ。

文教当局や経済企画院等、関係部処では私学の不足した財政は、原則的に財団で補充しなければならないと促している。しかし、過去、土地は主要基本財産となっていた名門私学が、その間、土地改革等で事実上、一文無しとなり、どうかという今のような熾烈な事業競争の中で、学校財団の収益性も金もうけも弱く、ということ自体は完全に承知されている。しかし市内で現行、財団が学校財政を助けている中高校は数えるほどしかない。

おこなった事情を考慮して、政府としても必要ならば私学を助けてやうという姿勢を取っているのだ。しかし、私学を助けてやうという考えの強さに文教当局と経済企画院の間で多大な差異がある。経済企画院等では、手放した非常に盛んである私学のイメージをいまも持っているのみならず、最近一部私学の不正事実等を私学の一般的現象と受けとり、私学の財政難をこの議論とみなさうとする傾向があるようだ。

私学財政問題に関しては、経済企画院内部でもその対策をめぐって、互に意見が対立している。

物価関係局では、物価騰貴の要因に於いて、授業料値上げをあげておこなうとし、

予算関係局では、義務教育でもない中高校に同席補助が不可能であるから、受益者負担原則による解決せよというものである。

その間、授業料は相当上がった。公立中学（小・中）の場合、去る66年の年間5160ウォンが10年目には6倍をはるかにこえる34,800ウォンとなった。来年公務員給与が50%引上げられ、ボーナス100%加増と支給されるようになるから、新学年は大幅な授業料値上げが、また不可避になる。

その間、世間の明日の事実は、最近、数年間の教育に対する政府の投資が、相当軽く

扱われ続けている。その際、内国税総額の12.98%を地方教育財政交付金として法制化したから、72年8.3措置でこれ、政府総予算中の文教予算比率も73年17.9%から74年には5.2%、75年には16.3%へと下がっている。可視的な経済分野では、10年を以て100年後に成果をあらわした教育に対する投資も大切に考えなければならぬと、教育関係者は大に主張している。

〈鄭然春(チンヨハン)記者〉

△私債凍結の緊急命令

中高校授業料値上げ趨勢

(小・中基準) 額付年額

中高校 수업료 인상 추세 (서울기준) 액수는年額

中 学 校	年 度	高 等 学 校
公 立	66	5,160
	67	9,400
私 立	66	6,960
	67	8,040
公 立	68	11,280
	69	13,440
私 立	68	10,200
	69	12,720
公 立	70	15,600
	71	18,720
私 立	70	16,800
	71	20,160
公 立	72	21,480
	73	21,480
私 立	72	21,120
	73	27,840
公 立	74	24,720
	75	24,720
私 立	74	25,080
	75	32,040
公 立	76	30,960
	77	30,960
私 立	76	34,800
	77	44,400
公 立	78	34,800
	79	34,800
私 立	78	38,400
	79	48,960

* 75年度公立高校は3学年を以てあり、

公立1、2学年は私立と同額。

- ① 74. 1学期
- ② 74. 2学期

立稲先売再び流行

—東亞日報—
1975.9.8

【普州】 秋夕を前にして一部農村にソウル、釜山、大邱の米穀商が押し寄せ、米一かます5000~1万円の前金を与え、田にはえて113稲を買いこんで113。慶尚、陝川、郡、陝川面インゴク(인곡)チャンゲ(장계)クワン(관)等3部落では去る1日大邱市郊(郊)の(山岳)洞林某氏(45、米穀商)とソウルで米穀商をすると113等某氏(56)が訪ずれば、この村の鄭某氏(42)に12万ウォンを与え、田にはえて113稲12かますを秋の取入れ時に、朴某氏(39)にも前金12万ウォンを与え、稲12かますを契約したし、金某氏(46)には稲5かますを秋の取入れの時にもっていく条件で2万5000ウォンの前金を与え、残りの2万5000ウォンは稲の引き受けの時に支払うということに契約した。

又3日には陝川郡加郎面(加郎面)で無免許米穀商を行う白某氏(40)と朴某氏(51)ら2名が都会地米穀商の依頼を受け1かます1万円を与え立稲先売の契約して113陝川郡職員に通告されることもあった。このような現象は慶尚南道内金海、梁山等の地方でも同じであると云われるが、当業者の農民達が通告されることさき、取締に手がかかる状況である。道農政当局は秋夕を前にして立稲先売行為が広がるものを見て住民達の自発的申告を望んでいる。

→(訳注) 封建的地主制が日帝解放後充分清算されないうまにあり韓国では農村で惣然たる刀をもち、今日韓国の反動政治の支柱としてある。地主・悪徳米穀商の零細農民に対お搾取は苛酷で立稲先売の場合ゆすか2~3月の融資で100%以上の利息。立稲先売は5~6ヶ月で170~180%の利息を付けて113。又種子が芽を出す以前に契約する、黒田先売、青苗の時の蒼田先売、雪にうすいた麦を売る白田先売等がある。このような先売価格は普通市場価格の50~60%といわれる。

零細農民が陰で先売せぬは秋夕を迎え、秋の取入れまで延命出来な113現実がここにある。

→ 〇〇先売… 〇〇の状態にある作物を収穫高を見越して作物を売ること。青田売り。



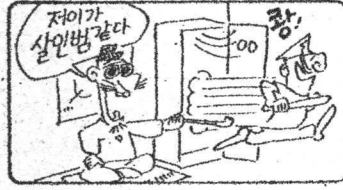
<租相大家>



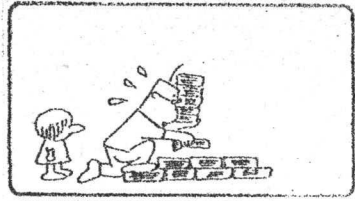
あいつが誘拐犯
らしい
パターン



違ったよ

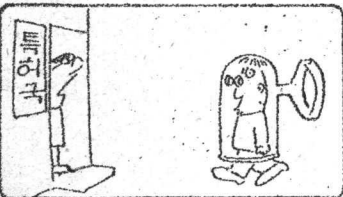


あいつが殺人犯
らしい
パターン!



もう学費にあてる
金がないよ

코바우영감 김성한 (8508)



9/8

<特許局>



これは何ですか?
各国大統領が
使う防弾ガラス
版です



このうしろのは何
ですか?



暑いかもしれない
がさ.うちわど
あおごうよ...

코바우영감 김성한 (8508)



7/4

<總務部>

長官.おはよう
ございます.



あれ. 顔がど
うしてのさ?



はい! 饅首の
まうすの間に. 松
餅の小麦粉が
腐っていいのが
調査するから...



よっしゃ. この名
札は札を大き
くつけてもらう
と誰が誰かわか
るからいいよ



住民登録証の
発行と受けに
きました。



職業は何ですか?
逃避中の不純
分子です。



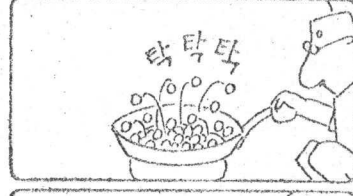
こちらへ立って
下さい!
次の方!
はい、私の名が
であります。



<内務部>
近ごろ夢をしばしば
見させるようだ
<決意>



秋夕餅に使う
豆を炒ることに



たたく、たたく、たたく



たたく、たたく



原産地気分が
悪くはた...



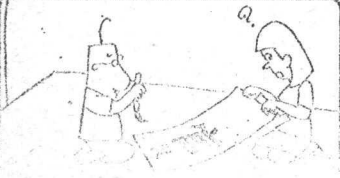
公務員の俸給大幅
引上げ、そのぶん
一増あるよ。



官吏が国民より
上位にいるよう
だね



官と民、官と民
漢字をいけなく
書かなくなったのに
何ごまた...



来年度の徴収目標
が1兆5千億
円です。



税金徴収の功
が大きいから、
首飾り賞を授
与する。



たたく、たたく、たたく



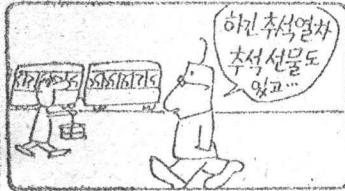
これは何と意味
する首飾りなの?
?



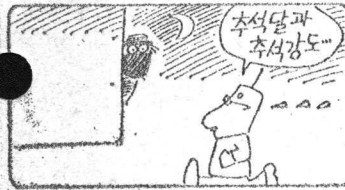
来年度の徴収目標
が1兆5千億
円です。



なぜこんなに高い?
秋夕の贈り物の登記が
高いの?



実は秋夕の贈り物、
秋夕の土産もある...



秋夕の月と秋夕強
盗も...



秋夕集団もある



<せたいち
健康>



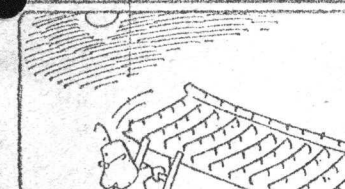
この海の中はど
入りにはおはは
いのです。
ほんとう?



水の色が少し異
常なのはなぜ
なの?



工場廢水の、水
を飲んで、魚が
よほど死んだり、
せいで、死んで
るんです。
たまたま!



まあ、何をくくの?



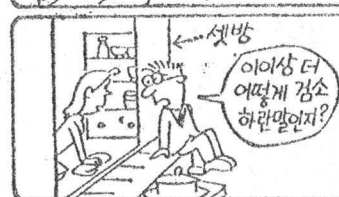
やはり秋夕月とわ
が家の距離は
遠い



秋夕は検査に
過すよ! ...
わかった?
はい!



秋夕は検査に
わかった?
はい



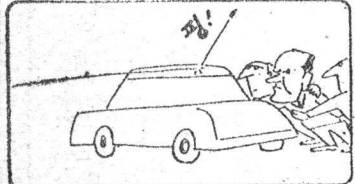
この以上とどう検
査にせよという
か? <質問>



ア??



여성기가 포드대통령 저격
대통령을狙撃



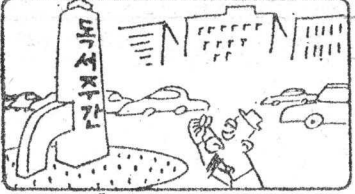
ピン!



女性がたまたま狙撃
手から、女性警護員を
使わなければなりません



選挙の時、女性票が
多くなるのが、少なくなるの



“どくしょ週刊”



お久しぶりです



どくしょ週刊というの
は、本を読めという「読書」
週刊かな?



毒さのこりはるという
「毒樓」週刊かな?

〈20ページからのつぎ〉

馬鹿除農薬を供給してくれることを望む。

ここには理由や、その他手続、手段と選んたり糾す必要がない。とりあえず急ぐことは遅滞なく農民が親んで112農薬を送りたばらに被害用に撤去のたかる。これに農薬業界は保有農薬があるからこれを出しおかしせず各輸送機関は農薬輸送に最優先せぬばならないし、治安当局はこの機に乗じて農薬の不正取引と暴利行為に徹底的に目をつけ今年農事と最後まで豊かに存するに相互協力を惜まぬことを又強調おまてび

秋の取入れを目前にひかえ、突如として農村から今年の米作に一大危機に直面してはという赤信号があったわり、豊作を期待していた国民の心に冷水をあびせられた。16日付本報各支社の報道に依れば、湖南平野と忠南平野をはじめ、金海平野等我が国主要穀倉地帯に稲うんかが蔓延、猛烈な勢いで今年度の豊作をたりにないにしては、さらに悪いのはこのように全国的にうんかが大流行しているのに、これを駆除する農薬が全く不足している事実である。広く知られているようにうんかは稲穂の稲熱病(いもち)と共に結実期の稲の農事を根こそぎ台無しにしてしまう大敵である。その脅威は既に全南の一部の地方の場合、少くも面積の米作に害が出て収穫が半減に落ちたと伝えられる事実からはきりとあらわれている。

今年の稲作は前例にない豊作になること、その喜びと期待も並々でなかった。今そんな今年の稲作に最後の瞬間に来てうんかが蔓延し台無しになるとの消息は食前の翻腸に灰をばらまかれたように、農民のやせない心情が察せられるようだ。そうではあつか、どうしてこんな暗黒たる事態がひらされたのか到底我々としては理解出来ない。うんかの被害はたゞ今年になって初めて発生した現象ではなく、既にスレい前からそれほど毎年ある現象である。ならば事前にこれを充分に予測し得ることであり、又当然予測しておかぬはずなりのことであつた。ここにいたり我々はまずオーにうんか発生に対処する関係当局の事前察知が全く不十分だ、たかどつかを疑わぬを得ない。一体全体その内農水産部は何とし、農村振興庁等連は、いれ一線農政部長、枝刈や担当者は何をしていたのか、固い正したい。このようにぞくぞくと目前で害虫が増え、米作を台無しにしては、ぬを駆除する農薬が全くないこともなげかわしいことだ。

うんかは結実期に増えるもので、毎年結実期直前にこれを駆除する農薬を準備して置かぬはならぬのに、今年はその農薬が充分に準備してはなかつたことも一大失策といわざるを得ない。今日、ほとんど金肥にのみ依存しているような我が国の米作は、このため各種の病害虫の被害で収穫の最近まで気を配らぬことが出来たのか、驚愕に落ちた。それ故に農資材の中でも化学肥料と農薬の充分な供給は絶対的の比重を占める。今からでも農政当局は全力を尽し、現地農民が気をもまらぬうんか